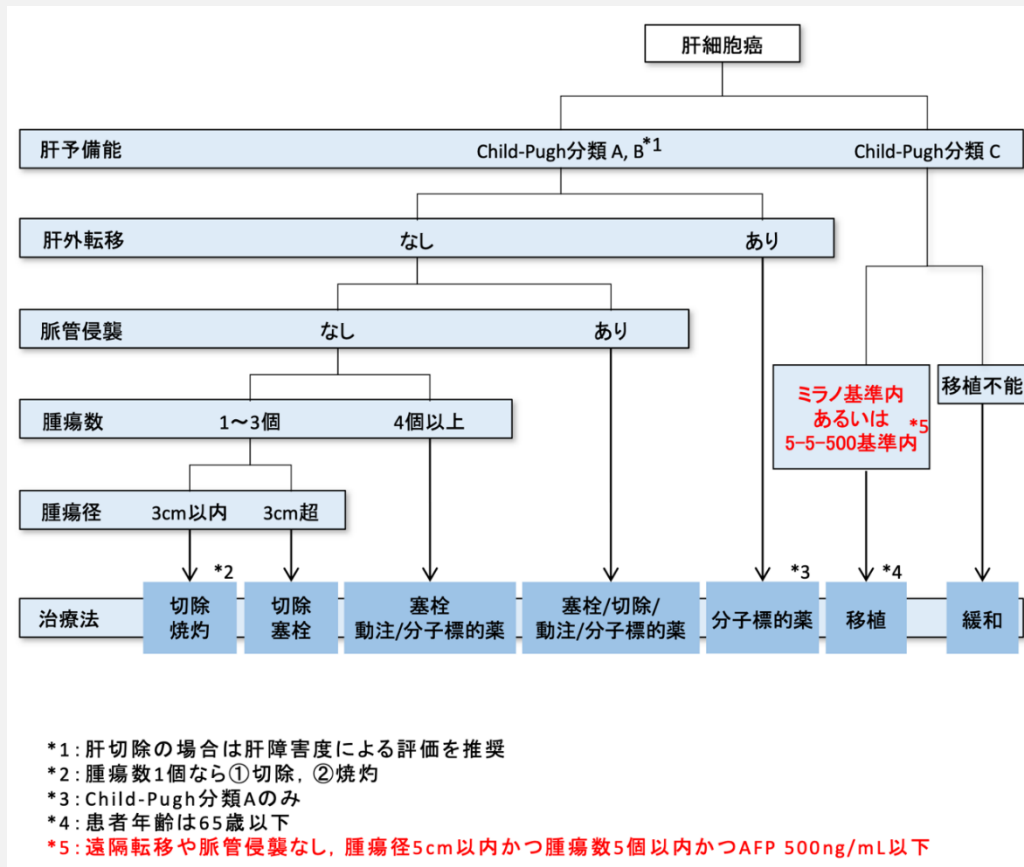


原発性肝がん（内科的治療）

市立大津市民病院では、肝がんの数、大きさと肝機能の程度から治療方針を検討します。患者さんの希望も踏まえて治療方針を決定します。



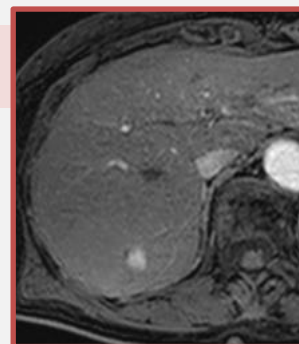
肝癌診療ガイドライン 2017年版 補訂版

原発性肝がんの大部分は慢性の肝臓病を持つ人に発生します。日本では、年間約2万5千人の方が亡くなっています。病状が進行しないと症状が出現しにくく早期発見のための定期検診が必要です。

治療方法について

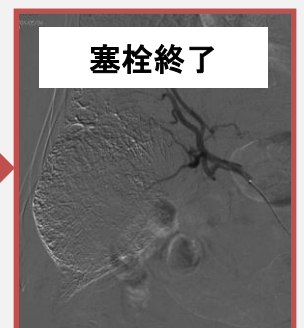
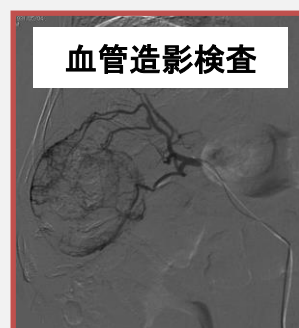
ラジオ波焼灼療法

小さい腫瘍で個数が限られている場合に選択されます。腹部から電極針を刺し、腫瘍を焼灼します。小型の腫瘍なら10分程度で焼灼できます。1週間程度の入院となります。



肝動脈塞栓療法

大きい腫瘍や多発している場合に選択されます。太股の血管（動脈）からカテーテルを入れ、抗癌剤や塞栓物質を注入して腫瘍を壊死させます。1週間程度の入院となります。数ヶ月毎に繰り返し治療する場合や、他の治療法と併用する場合があります。



薬物療法

近年、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬など様々な薬剤が登場し、よく効くケースも出てきました（適応は癌の病期、肝機能や基礎疾患により判断します）。これらの治療が難しい場合は、肝動脈へ直接抗癌剤を注入する治療（動注化学療法）を行います。

治療後の経過観察について

肝細胞癌は再発が多いのが特徴です。再発を早期に発見するためには、治療後も定期的な検診が必要です。また B 型、C 型肝炎などのウィルス性肝疾患の患者さんでは、抗ウィルス治療を施行することにより予後の改善を図ります。

おおよその入院期間と費用について

治 療 方 法	入院期間	点数	3 割負担の方の概算費用 (限度額適用なしの場合)
ラジオ波焼灼療法	約 1 週間	約 60,000 点	約 18 万円
肝動脈塞栓療法	約 1 週間	約 89,000 点	約 28 万円

概算は、限度額を適応していない金額です。

※70 歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約 370 万～770 万円)の方で 10 万円前後です。

※70 歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で 57,600 円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。

私

たちにお任せください



市立大津市民病院 消化器内科